

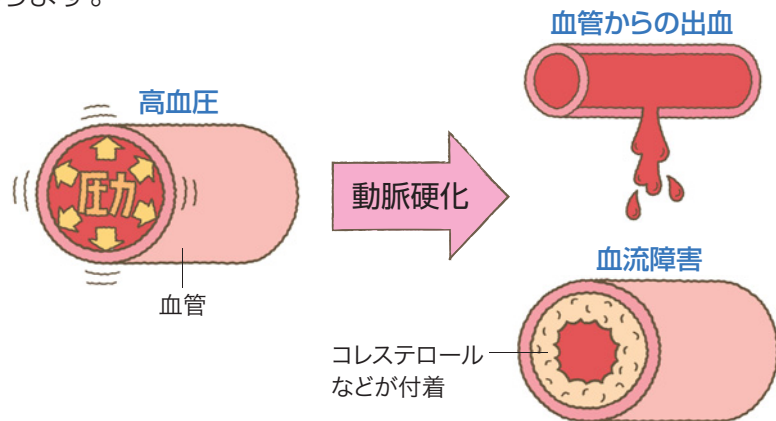
高血圧治療の大切さ

高血圧の症状は、頭痛や肩こり、めまい、息切れなど比較的軽く、自覚症状に乏しいのが特徴です。しかし、高血圧の状態を長く放置すると、自覚症状がないまま徐々に合併症が進行して重大な病気になり、寝たきりになる患者さんも少なくありません。

高血圧の状態が続くと…

動脈硬化を引き起こす

動脈硬化とは、血管壁が硬くなり弾力を失った状態のことをいいます。動脈硬化が進行すると、さまざまな病気を引き起こす恐れがあります。



- 脳卒中の罹患率・死亡率が高くなる
- 心疾患の罹患率・死亡率が高くなる
- 慢性腎臓病患者の予後が悪くなる

高血圧の治療
目的は、これらを
減らすことです。

高血圧は治療しましょう

慢性的な高血圧は、命にかかわる循環器の病気(脳卒中や心疾患など)を引き起こす原因へとつながります。そのため、収縮期血圧の4 mmHg低下が国民の健康に対する目標として現在掲げられており、その目標を達成することで脳卒中の死亡率は男性8.9%、女性5.8%の低下が、また、虚血性心疾患の死亡率も男性5.4%、女性7.2%の低下が期待できるといわれています。

これらの病気の発症リスクを下げるためには、できるだけ早期から治療を開始し、血圧を適切に管理することが大切です。

厚生労働省「健康日本21(第二次)の推進に関する参考資料」より